

# 29K-am01S

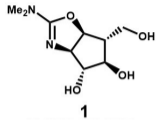
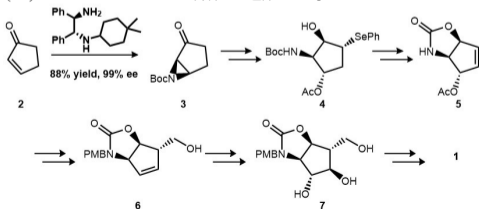
(-)-Allosamizoline の不斉全合成

○村元 理佐<sup>1</sup>, Tanachote RUENGSAIRA<sup>1</sup>, 濱田 康正<sup>1</sup>, 根本 哲宏<sup>1</sup> ( <sup>1</sup>千葉大院薬 )

【目的】当研究室は、キラルジアミン触媒を用いた環状エノンの不斉アジリジン化反応を報告している<sup>1</sup>。今回、新たな触媒を合成し反応条件の最適化を行うとともに、本反応を利用した(-)-Allosamizoline の不斉全合成を行うこととした。

【方法・結果】キラルジアミン触媒と溶媒、添加剤について検討し、キラルなアジリジン **3** を不斉収率 99% ee で得た。

化合物 **3** に対して、酢酸によるアジリジンの開環と数工程の官能基変換を行い化合物 **5** へと導き、立体特異的に進行する [2,3]-Wittig Still 転位を利用してホモアリルアルコール体 **6** を得た。最後に水酸基誘導型エポキシ化に続く位置選択的開環等を経て(-)-Allosamizoline の全合成を達成した。



(-)-Allosamizoline

1) Menjo, Y. et al. *Org. Lett.* **2011**, *13*, 5744.